

令和5年度 第3回 学校運営協議会議事録

校名	府立 四條畷高等学校
(准)校長名	稲葉 剛

開催日時	令和6年2月22日(木) 15:30～17:00
開催場所	大会議室(東館2F)
出席者(委員)	田中保和会長 松瀬理恵委員 梅田和子委員 串田ゆか委員
出席者(学校)	稲葉校長 森教頭 轟事務長 浦井首席 堀江首席 安川教諭 西教諭 藤板教諭 村松直教諭 秦教諭 中瀬教諭 宮崎教諭 中西勇教諭 末吉教諭 畑(文責)
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 学校経営計画及び学校評価(案) 令和6年度 学校経営計画及び学校評価(案) 令和5年度第3回学校運営協議会説明スライド 2023 畷高アンケート集計
備考	なし

議題等(次第順)	
1 学校長挨拶 2 報告 (1)令和5年度 活動報告について (2)令和5年度学校経営計画及び学校評価(案)について (3)令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)について (4)学校教育自己診断について 3 協議 本年度の取組の評価と来年度の改善に向けて 4 その他 第2回運営協議会記録 連絡等	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
3 本年度の取組の評価と来年度の改善に向けて ・様々な取り組みをされ人権教育についての教員の評価が向上しているが、その理由とそのことがどのように生徒につながっているかを教えていただきたい。【委員】 →いままでは優しさや思いやりなどにフォーカスされていた人権教育を権利や身近な事例から人権教育をしていることが教員の評価向上につながったのではないかと。また、生徒も身近な事例を取り扱うことで今まで気づけていなかった人権意識に気がつけたという意見があった。【首席】 ・ジェンダー教育は、どのように行われているか。【委員】 →課題研究でもジェンダーの研究が出てきている。一方で進学状況でも女性と男性の差異がある。このように、今までのジェンダー意識が1段階上がったのではないかと。今後は具体的に実行に移す段階になったのではないかと。【首席】 ・生徒が興味を持つような授業とは具体的にどのような授業か。【委員】 →背景知識についての指導をしたり、生徒が授業をするような授業もある。【教諭】 →分かる授業、考える授業、気づきがある授業、この3つが重要ではないかと。【教諭】 探究チャレンジの研究テーマのマッチングで余ってしまう生徒はいないか。【委員】 キーワードを生徒から出させて、教員側でもある程度マッチングの予想をしておく。また、マッチングできていない生徒に対しては教員が声をかけながら補助している。またテーマを絞りすぎないようにしている。【教諭】 月の残業時間80時間以上の教員が多いのは民間では考えられない。これだけしないと仕事が回らないという状況なのか。【委員】 →部活動の指導が残業時間増加の主な原因になっている。来年からは府の取り組みとしても部活動の指導に関しての基準を設けて時間外労働の削減を推進している。【校長】 18時以降に勉強を教えてもらっている生徒もいるようであるが、改善策等はあるか。【委員】 時間差通勤で残業時間の減少ができるのではないかと。【委員】 →子どもの送り迎えなどがある教員は時間差通勤をしているが、部活動等の指導で時間差通勤をしている教員はいない。【校長】 職員朝礼は行っていないとのことなので朝の時間に年次有給休暇を取得しやすいのではないかと。【委員】 →朝8時30分までの電話対応が無くなったことによって朝の時間の余裕はできているので、朝に年次有給休暇を取得している教員も多い。【教頭】 有給休暇の取得はどのようになっているか。【委員】 →以前に比べたら増えている。【教頭】 この仕事がなかったら時間外労働が減るという仕事はないか。【委員】 →会議の時間が授業時間に組み込まれたら減る。教科会は授業時間内に入っているが、分掌会議は入っていない。【委員】 今病欠などの教員はいるか。【委員】 今のところ病欠の教員はいない。仕事量が多いがストレスチェックの数値は低い。【校長】	
次回の会議日程	
日時	令和 年 月
会場	未定